

医療事故情報収集等事業 第35回報告書のご案内

1. 報告の現況

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業（対象：平成25年7月～9月に報告された事例）

表1 報告件数及び報告医療機関数

		平成25年			合計
		7月	8月	9月	
報告義務 対象医療 機関	報告件数	141	0	327	468
	報告医療 機関数	131			
参加登録 申請医療 機関	報告件数	26	0	9	35
	報告医療 機関数	21			
報告義務対象医 療機関数		274	274	274	-
参加登録申請医 療機関数		680	680	685	-

第35回報告書55～58頁参照

表2 事故の概要

事故の概要	平成25年7月～9月	
	件数	%
薬剤	32	6.8
輸血	2	0.4
治療・処置	127	27.1
医療機器等	6	1.3
ドレーン、チューブ	30	6.4
検査	29	6.2
療養上の世話	188	40.2
その他	54	11.5
合計	468	100.0

第35回報告書64頁参照

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業（対象：平成25年7月～9月に発生した事例）

- 1) 参加医療機関数 1,120（事例情報報告医療機関数 610施設を含む）
- 2) 報告件数（第35回報告書80～86頁参照）
 - ①発生件数情報報告件数：172,106件（報告医療機関数 451施設）
 - ②事例情報報告件数：6,269件（報告医療機関数 52施設）

2. 医療事故情報等分析作業の現況

従来「共有すべき医療事故情報」として取り上げた事例に、さらに分析を加え、「個別のテーマの検討状況」の項目で取り上げています。今回の個別のテーマは下記の通りです。

- (1) 血液浄化療法（血液透析、血液透析濾過、血漿交換等）の医療機器に関連した医療事故 【第35回報告書 108～139頁参照】
- (2) 医療機関と薬局の連携に関連した医療事故 【第35回報告書 140～200頁参照】

3. 再発・類似事例の発生状況（第35回報告書201～228頁参照）

これまで個別テーマや「共有すべき医療事故情報」、「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が発生したものを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例は下記の通りです。

- (1) 「湯たんぽ使用時の熱傷」 (医療安全情報No. 17) 【第35回報告書 204～211頁参照】
- (2) 共有すべき医療事故情報「熱傷に関する事例 (療養上の世話以外)」 (第9回報告書) 【第35回報告書 212～228頁参照】

*詳細につきましては、本事業のホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。